焼津市スマートシティ推進協議会
令和８年度第２回運営委員会

日　時：令和８年 10 月 21 日(水)

午後３時～午後４時

場　所：焼津市役所　４階　応接室

次　　第

１　開会

２　議題

報告事項

・事業進捗について

・WG の進捗について

３　全体を通じた意見交換

４　閉会

焼津市スマートシティ推進協議会
令和8年度　第2回運営委員会

日時：令和8年10月21日（水）15時～16時
会場：焼津市役所4階　応接室

開会

次第

時間	アジェンダ
15:00	開会
15:00~15:07	委員交代の報告 新規会員の紹介
15:07~15:47	報告事項 １事業進捗について ２WGの進捗について
15:47～15:55	意見交換
15:55	閉会

新規会員の紹介

新規会員の紹介

正会員39団体（令和8年10月21日時点）

No.	正会員　企業・団体名
1	焼津市
2	一般社団法人焼津市観光協会
3	大井川商工会
4	アクティブおおいがわ
5	大井川農業協同組合
6	社会福祉法人焼津市社会福祉協議会
7	焼津漁業協同組合
8	焼津市魚仲水産加工業協同組合
9	焼津市自治会連合会
10	焼津商工会議所

No.	正会員　企業・団体名
11	焼津市商店街連合会
12	焼津ホテル旅館組合
13	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
14	アジア航測株式会社　静岡支店
15	一般社団法人トリナス
16	一般社団法人ＵＤＣＫタウンマネジメント
17	SBK協同組合
18	NTT西日本株式会社　静岡支店
19	株式会社イシダテック
20	株式会社いちまる

（元No’19）NTTビジネスソリューションズ株式会社は令和8年7月1日に
（No’18）NTT西日本株式会社に事業承継

新規会員の紹介

正会員39団体（令和8年10月21日時点）

No.	正会員　企業・団体名
21	株式会社Wellmira
22	株式会社SBS情報システム
23	株式会社S'PLANT
24	株式会社otta
25	株式会社CoACT-X
26	株式会社サンロフト
27	株式会社静岡銀行　焼津支店
28	株式会社Geolonia
29	株式会社JIN
30	株式会社スマートホテルソリューションズ

No.	正会員　企業・団体名
31	株式会社ゼンリン　静岡営業所
32	株式会社橋本組
33	株式会社吉村
34	xID株式会社
35	合同会社うさぎ企画
36	しずおか焼津信用金庫
37	Beginners Tech株式会社
38	巻田油業株式会社
39	山福水産株式会社

新規会員の紹介

パートナー会員13団体（令和8年10月21日時点）

No.	パートナー会員　企業・団体名
1	一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構
2	**カゴメ株式会社**
3	株式会社ウェザーニューズ
4	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
5	株式会社静岡ビジネス社
6	株式会社電通総研
7	**株式会社Tengun-label**
8	株式会社はんぽさき
9	国際航業株式会社　静岡支店
10	静岡県立焼津中央高等学校

No.	パートナー会員　企業・団体名
11	**大栄工業株式会社**
12	東京海上日動火災保険株式会社
13	富士通Japan株式会社

太字下線は新規会員

報告事項

・事業進捗について
・WGの進捗について

報告事項　事業進捗について

運営体制の構築

- デジタルを活用し、分野横断的な視点で地域課題解決に取り組み、焼津市ならではの魅力や市民生活の豊かさ、利便性の向上を目指し、持続可能な都市を実現するために「焼津市スマートシティ推進協議会」を設立しました。
- スマートシティ発展期への移行を目指し、地域課題解決のための協議の場づくりに挑戦。ワーキンググループを設置し、関係者が協力して取り組みを進めました。

【創設期：2022・2023】
官民連携データ活用のための枠組みづくり
→焼津市スマートシティ推進検討会
（データ連携基盤の構築）

【発展期】
官民連携のオープンイノベーション
→焼津市スマートシティ推進協議会
（協議の場づくり）

【成熟期】
スマートシティYAIZUの実現
（地域課題解決に向けたまちづくり）

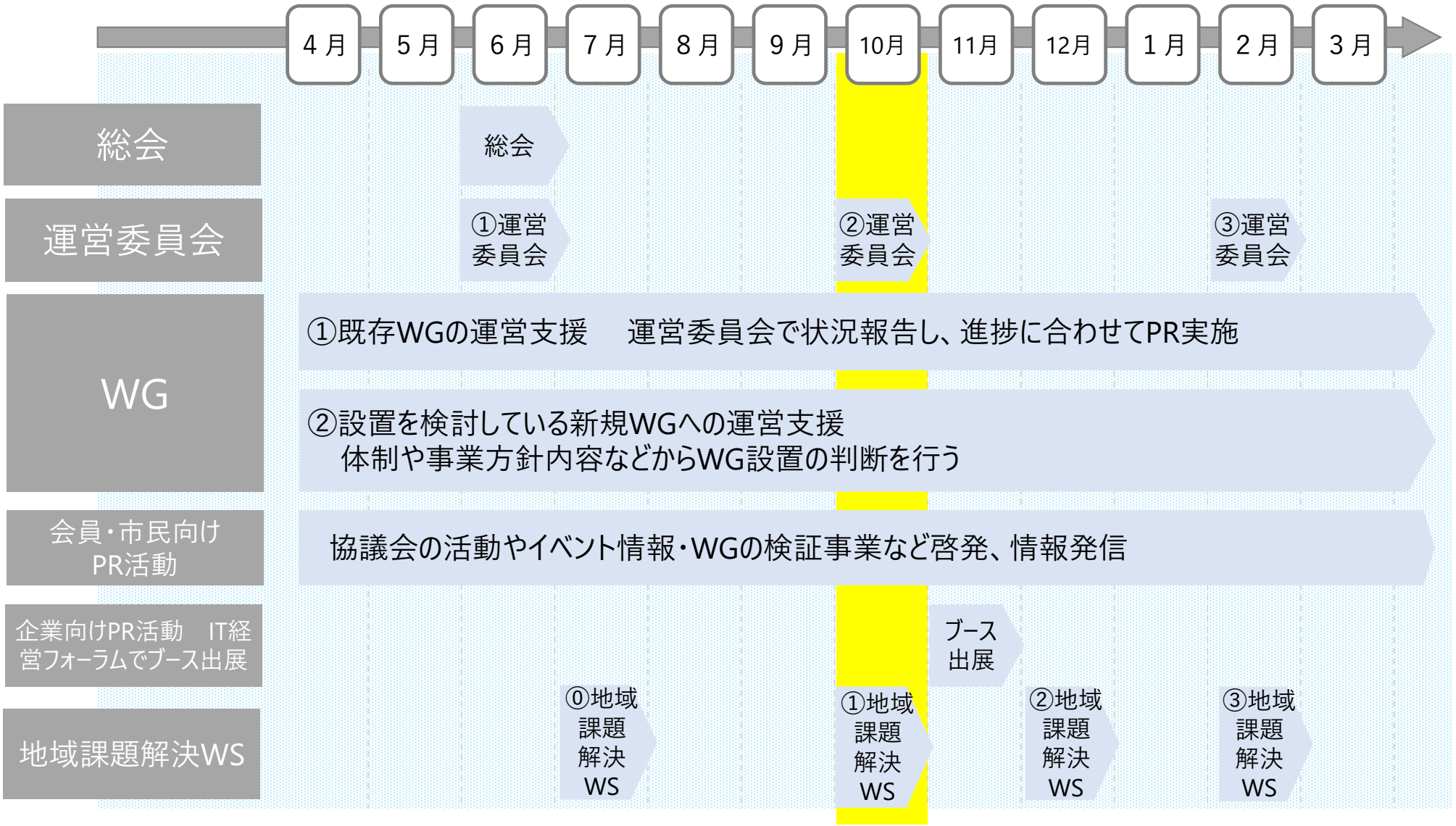


焼津市スマートシティ推進協議会　推進体制

総会	• 協議会運営の議決機関 • 原則、年1回開催 • 正会員、パートナー会員で構成
運営委員会	• 協議会の事業を円滑に運営するための組織 • 総会に付すべき事項の審議や、ワーキンググループ設置、事業等について協議する
ワーキンググループ	• 個別事業の実施、実装に向けた検討を行う • 正会員、パートナー会員を中心に組織。
地域課題解決WS	• 焼津市スマートシティの取組を知ってもらう機会 • WG組成前の事業の種(シーズ)を生む場

報告事項　事業進捗について

令和８年度協議会スケジュール



報告事項　事業進捗について

総会及び運営委員会

第１回運営委員会

開催日	令和8年6月19日（金）
場所	焼津市役所4階　応接室
実施内容	1. 開会 2. 運営委員の選出 3. 委員長互選 4. 新規会員の紹介 5. 報告事項 　・ 令和7年度事業報告 6. 協議事項 　・ 令和8年度事業計画 　・ 令和8年度WGの進捗報告 　・ 令和8年度WGの立ち上げについて 　・ プライバシーポリシーの策定について 　・ 新規ＷＧ設置基準について 7. 閉会
決定事項	➢ 令和8年度事業計画 ➢ 令和8年度WGの進捗報告 ➢ 令和8年度WGの立ち上げについて ➢ プライバシーポリシーの策定について ➢ 新規ＷＧ設置基準について
参加者	運営委員12名、運営委員以外3名





報告事項　事業進捗について

総会及び運営委員会

総会

開催日・場所	令和8年6月25日（木）焼津市役所1階　会議室1B
実施内容	1. 開会 　• 協議会会長　飯塚真也（焼津市副市長） 2. 第一部 　• 報告事項1 運営委員の選任 　• 報告事項2 新規会員の紹介 　• 報告事項3 令和7年度事業報告について 　• 報告事項4 新規ＷＧ設置基準について 　• 協議事項1 令和8年度事業計画について 　• 協議事項2 プライバシーポリシーの策定について 　第二部　議事 　インプットトーク 　「「わたしたち」から始める、スマートシティ」 　一般社団法人コード・フォー・ジャパン/神戸大学V.School　業務執行理事/客員教授　砂川　洋輝　氏 　トークセッション 　「「ワーキンググループと地域課題解決ワークショップ」に見るスマートコミュニティの始め方」 　砂川 洋輝 氏・株式会社SBS情報システム　執行役員　原田 雅樹 氏 　「地域が自ら動くために必要な“条件”は？」株式会社Wellmira代表取締役社長兼CEO　渡辺敏成 「焼津市内企業が、どうスマートコミュニティにつながるか」砂川 洋輝 氏・焼津市CDO　瀬戸 伸亮 氏 3. 写真撮影 4. 閉会
決定事項	令和8年度事業計画、プライバシーポリシーの策定
参加者	正会員19社、パートナー会員5社、聴講者15名（議決権回答内訳：賛成7名、焼津市委任1名）



報告事項　事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベント実施検討

第0回 地域課題解決 ワークショップ	第1回 地域課題解決 ワークショップ	第2回 地域課題解決 ワークショップ	第3回 地域課題解決 ワークショップ
7月6日(月)11時-12時 @オンライン ＊開催済	9/28(月)17-19時 @焼津PORTERS ＊開催済	12/17(木)17-19時 @焼津PORTERS	3/4(木)17-19時 @焼津PORTERS
❶ 参加者の意向確認	❷ テーマブラッシュアップ	❸ WGへの設置提案内容を具体化	❹ 成果を発表し、次のアクションに繋げる
・令和７年度地域課題解決ワークショップの内容振り返り ・今年度のワークショップの全体像を共有 ・参加者の目的や関心のあるテーマの確認	・令和７年度のテーマを整理し、課題を再確認 ・必要な追加情報を共有 ・実現を目指す事業の方向性を話し合う ・新しいテーマ案があるグループは、新テーマについて検討	・実現のイメージを具体的に描く ・提案に必要な要素（体制・スケジュール・費用など）を整理 ・運営委員会に諮るための資料（フローチャート等）を作成	・各グループの提案内容を発表・共有 ・次年度以降の取り組みや新規WG設置に向けた課題を整理

各回のワークショップを通じて、具体的な提案をまとめ、WGでの検討につなげます。

報告事項　事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベントを実施

第１回地域課題解決ワークショップ

開催日	令和8年9月28日（月）
場所	焼津PORTERS　２階
実施内容	1. 開会 2. 今年度のスケジュール 3. ワーキンググループの活動について 4. 新規ワーキンググループの設置について 5. 質疑応答 6. グループワーク ・地域DX/観光 ・空き家 ・環境（循環） ・情報発信 ・チャレンジプロジェクト※ 7. 連絡事項 8. 閉会
連携事業	大学生×企業DXチャレンジプログラム：市外の大学生が地域企業のリアルなビジネス課題に挑む実践型プログラム
参加者	31名（静岡県立焼津中央高等学校生徒3名・オンライン参加11名）







報告事項　事業進捗について

ワークショップ計画一覧

テーマ	概要
企業等提案型 1．空き家	**【空き家メモリー】** ①背景：進まない「空き家問題」の一つである流通しづらい点に着目した新たなマッチングの仕組みづくり ②計画：「思い出を繋いで新たな担い手を探したい所有者×空き家活用を探す担い手」のマッチングシステム ③工程：R8実証(空き家ツアー・相談会)⇒R9システム構築
	【9/28時点】 ①状況：前提整理 (空き家活用のモデル調査、焼津市住宅建築課との情報交換の実施)を実施していくことを確認 ②次回：前提整理を踏まえた、計画のブラッシュアップ ③WG提案：今年度中の提案を検討(2月)
企業等提案型 2．観光・周遊	**【焼津市ワクワク周遊MAP　yaimoでめぐる焼津旅】** ①背景：観光資源への有機的なアプローチ不足「点から線へ、そして面へ」 ②計画：「Lymo」の導入と施設間連携による「複数のモビリティを選択できることによる周遊の促進」 ③工程：R8実証(焼津PORTERS)⇒検証を踏まえ、実装に向けた具体的な検討に移行
	【9/28時点】 ①状況：観光庁の補助金を活用し、Lymoを活用したプラン(yaimo利用促進)を作成中 ②次回：プラン実証状況を踏まえたフィードバック及び計画のブラッシュアップ ③WG提案：今年度のプラン実証を踏まえ、次年度以降検討
企業等提案型 3．地域DX	**【デジタルツインを活用した宿泊施設等の高度利用・多機能化】** ①背景：人手不足により現場作業や、管理作業等の維持が難しくなってきている。 ②計画：センサーから温度データ・人の動きをリアルタイム取得し、デジタルツイン上で管理するとともにマーケティングに活用 ③工程：R8に、人の動きを感知するシステム導入、年内に人の属性の紐づけ実施
	【9/28時点】 ①状況：焼津PORTERSのデジタルツイン実証(センサーによる人の認識とデータの紐づけ)を進行中 ②次回：実証結果のフィードバック及び連携先企業による資金調達等を進め、「ブループリント(青写真)」の製作 ③WG提案：来年3月の展示会出品を機に、観光施策への展開余地を検討し、来年度提案を検討

報告事項　事業進捗について

ワークショップ計画一覧

テーマ	概要
企業等提案型 4．環境(循環)	**【焼津サーキュラーコモンズ】** ①背景：海洋ゴミの約8割が陸域由来の一方、回収後の「再生」出口がなく活動がボランタリティに依存 ②計画：環境活動を経済的メリット(デジタル地域ポイント)や多文化交流の機会へとつなげるフェスの企画 ③工程：R8に、焼津市・焼津中央高校の既存の取組を行っている団体との実証を検討
	【9/28時点】 ①状況：「各団体の環境活動の認知度向上」という課題解決に向け、どう仕組化するかの検討段階 ②次回：仕組化のためのアイデア出しや、WG提案のためのコアとなる企業の探索(ヒアリング等)を検討 ③WG提案：仕組化の前提整理段階であり、来年度以降の提案を検討
企業等提案型 5．情報発信	**【焼津ミライスケッチ】** ①背景：高校生等の若い世代が、焼津市の産業への理解度が低く、就職に結びつきづらいため、接点を増やす必要 ②計画：高校生×市内企業マッチングで、生成AIを用いたPR動画製作(１つの手段) ③工程：R8の1年間かけ、企業募集・マッチング実施し、映像製作し、お披露目
	【9/28時点】 ①状況：「探求学習」として、企業PR動画を生成AIで製作するためのスケジュールを検討中 ②次回：製作状況の確認・報告 ③WG提案：今年度の成果を踏まえ、次々回の委員会(2月)にて提案予定
6．チャレンジ プロジェクト	**【大学生　x企業DXチャレンジプログラム】** ①背景：企業の課題(DX化・若者との接点)と、焼津市の課題(若者の関係人口推進)、両社の課題解決手段として ②計画：企業の課題を、地域内外の大学生が、生成AI等のツールを活用して解決していくためのプログラム及び実践 ③工程：R8の半期をかけ、大学生のスキルアップ・企業ヒアリングを通じて、年度末までに計画を策定
	【9/28時点】 ①状況：大学生に対して、伴走者(生産性向上支援センター)によるインプットの機会を実施 ②次回：事務局等による企業への課題ヒアリングを実施し、大学生を交えたソリューション検討のためのヒアリングを実施 ③WG提案：本プログラムは、移住定住課とのコラボ企画であり、WG提案については未定

地域課題解決ワークショップ

ワークショップ計画一覧



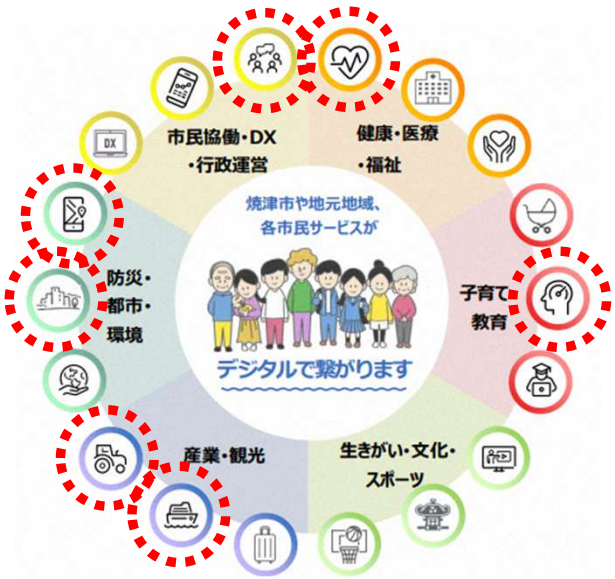
報告事項

・事業進捗について
・WGの進捗について

報告事項　WGの進捗について

設置済みWG 一覧

■ 現在、７つのWGが活動中です。

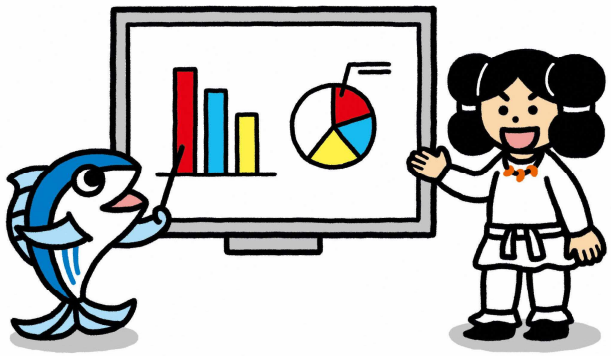


No.	WG名	分野	設置日
1	地域事業者 デジタル活用支援 WG	産業・観光	R6.12.23
2	水産加工品物流DX WG	産業・観光	R6.12.23
3	交通安全マップ利用促進 WG	防災・都市・ 環境	R6.12.23
4	自治会DX WG	市民協働・DX・ 行政運営	R7.6.20
5	地域防災情報ネットワーク 推進 WG	防災・都市・ 環境	R7.6.20
6	地域「健幸」共創 WG	健康・医療・ 福祉	R7.6.20
7	子ども見守りWG	子育て・教育	R8.6.19

報告事項　WGの進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG

主体者	■焼津商工会議所 ■しずおか焼津信用金庫 ■株式会社サンロフト
認識している地域課題	■ 地元中小企業や個人事業主の多くが、経営のデジタル化や業務効率化に課題を抱えている ■ 地元中小企業や個人事業主の多くが、既存のリソースや知識が不足している ■ DXという言葉は知っているが、具体的に何からどのように取り組めばよいのか分からない



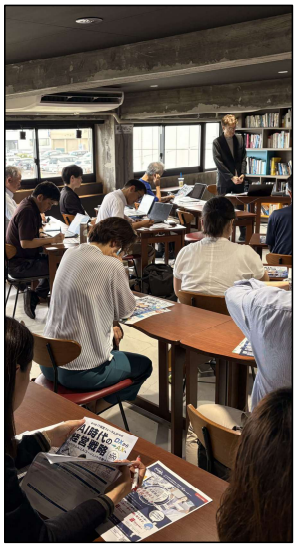
報告事項　WGの進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
IT経営フォーラムの開催	対象者：地元中小企業、個人事業主、静岡県内外の事業者 内容：フィジカルAI、ステーブルコイン、サイバー攻撃、AIエージェント 開催日：令和8年11月13日
AI活用セミナーの開催	背景：昨年度実施した「経営者向け　ＤＸ・生成ＡＩに関するアンケート」の調査において、AIに対する関心・活用ニーズが高いことが確認された。 対象者：焼津市内の一般事業者、一般企業 内容：アンケート結果を踏まえ、AIをテーマとしたセミナーの開催 第1回目：令和8年9月9日・第2回目（予定）：令和9年2月10日
企業向け AI・DX診断	対象者：焼津市内の一般事業者、一般企業 内容：専用ツールを用いたDX取組状況の自己診断・分析支援
デジタル会員証	対象者：焼津商工会議所会員事業者・従業員 内容：焼津商工会議所会員への導入サポート、機能改善の検討

報告事項　WGの進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容		
IT経営フォーラムの開催	日時：令和8年11月13日（金）12:50～17:00 会場：焼津市総合福祉会館 ウェルシップやいづ 定員：100名（事前申込制・参加無料） テーマ：「AI時代の経営戦略 ～DXからAXへ～」 講演：AI・ロボットによる生産性向上 ステーブルコイン AIセキュリティ AIエージェント 展示：ヒューマノイドロボット実機 ステーブルコイン実証実験　他		
AI活用セミナーの開催	日時：令和8年9月9日（水）14:00～15:30 会場：焼津PORTERS 2階 人数：26名参加 テーマ：中小企業がいま知っておきたいAI活用 内容：知っておきたい生成AIの選び方・活かし方 仕事をAIに任せる具体事例 「うちの仕事、どこをAIに任せられる？」を一緒に考える 講師：株式会社サンロフト 代表取締役社長 中村 雄 氏		

報告事項　WGの進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
事業者デジタル支援相談窓口の周知活動	【事業者デジタル支援窓口事業概要】 地域事業者のDX・AI活用や業務効率化を無料で個別支援（課題整理・解決策提案・補助金案内・専門機関連携）する相談事業。 該当支援窓口の周知・集客に向けて、デジタル会員証とAIセミナーにて連携し、市内事業者に向けて効果的な情報発信を実施。 ①AI活用セミナーとの連携 ・AI活用セミナーを窓口と同日・同会場で開催し、事業者デジタル支援窓口を案内。 ・セミナー参加者26名に案内、チラシ配布。 ②デジタル会員証との連携 ・デジタル会員証アプリを通じて、事業者デジタル支援窓口の情報を通知で配信。 ・【配信予定通知】 「焼津市 事業者デジタル支援窓口のご案内」 配信予定月：2026年11月

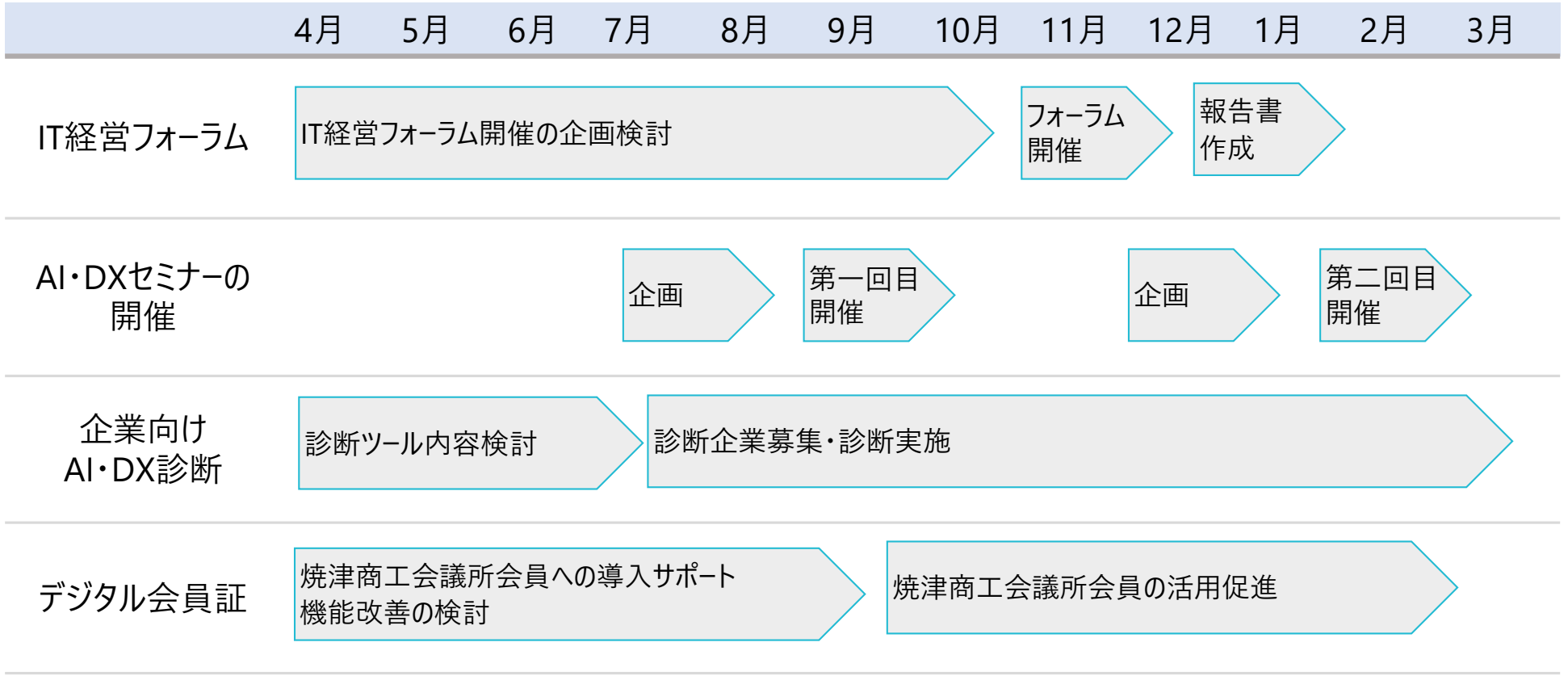




報告事項　WGの進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG　活動スケジュール

WGのゴール	地域事業者にデジタル活用を推進し業務効率化を促進する
中期目標（マイルストーン）	IT経営フォーラム開催／AI・DX診断・AIセミナー実施によるデジタル活用の定着／会員証アプリ活用促進



報告事項　WGの進捗について

02_水産加工品物流DX WG

主体者	■SBK協同組合（㈱SIC LOGITEC、㈱カネトモ、㈱マルイリフードサプライ、㈱富士冷） ■株式会社S'PLANT 
認識している地域課題	■ DX化が進んでいない理由として各企業が独自のシステムを活用しており、その統一ができていないことが大きな原因となっている。 ■ 運送会社と倉庫会社の連絡が進んでいない。共用できるシステムを制作し、利用した方が明らかに効率的であり、現状の非効率を改善したい。 ■ クラウド料金の値上げが想定以上に進んでおり、管理コスト増大の懸念がある。
解決策	■ C –Logi（クラウド型冷蔵庫在庫管理システム）システムの開発と、倉庫会社と運送会社間でのDX化を進める。 ■ C –Logiとは、「倉庫管理システム」「庫内管理システム」「寄託者WEBシステム」の３つの構成からなる。 ■ システム導入先を増やすことで、運用益を増やしていく必要がある。

報告事項　WGの進捗について

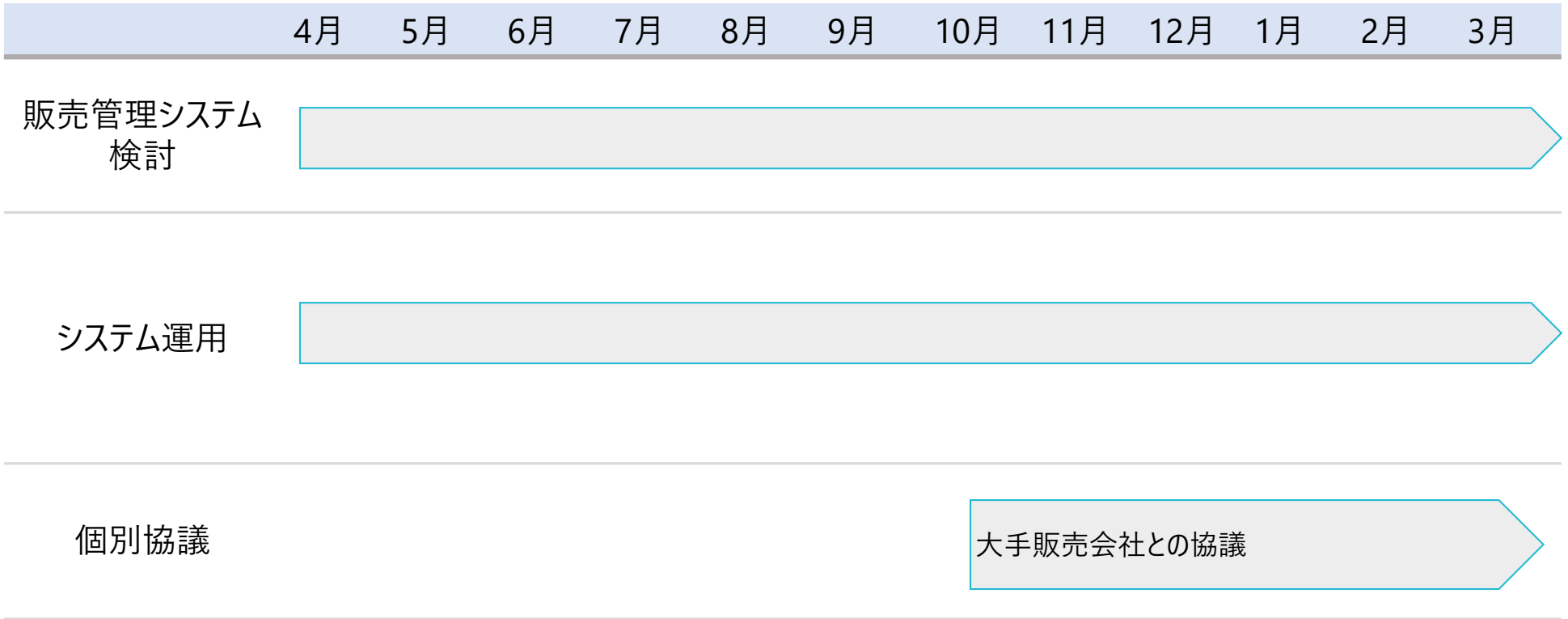
02_水産加工品物流DX WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
（取り組み①） 倉庫・庫内管理システムの導入	実施内容：倉庫システムと庫内管理システムの開発は完了し、導入を開始する。 導入済み：令和7年4月　㈱焼津冷凍（現：㈱SIC LOGITEC） 令和7年6月　㈱富士冷 令和8年4月　県内企業（浜松）導入
（取り組み②） 倉庫会社導入推進	対象者：一般倉庫(常温)・冷蔵倉庫 実施内容：一般倉庫・冷蔵倉庫への導入のための個別協議 実施結果：一般倉庫は、競合システムと競合があり、導入障壁有 冷蔵倉庫は、販売管理システムとの連携が求められており、販売管理システムの開発について検討中
（取り組み③） 運送会社導入推進	対象者：運送会社、大手販売会社 実施内容：運送会社との個別協議 実施結果：運送会社との個別協議が難航しているため、まずは上流の大手販売会社への対象をシフトした。10月に大手販売会社のシステムが変更されるとのことなので、それ以降にアプローチ予定

報告事項　WGの進捗について

02_水産加工品物流DX WG　活動スケジュール

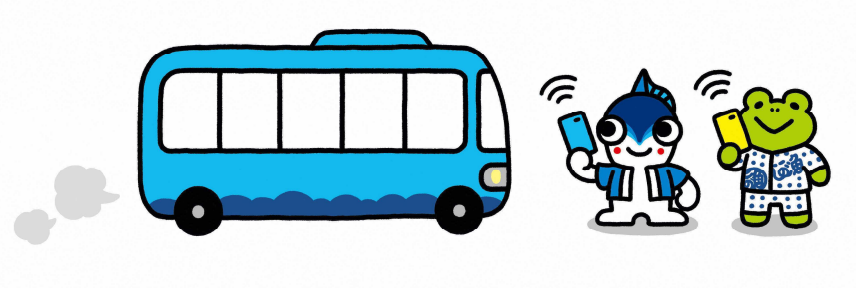
WGのゴール	C-Logiシステムの普及による業界DXの促進
中期目標（マイルストーン）	システムの認知向上と普及



報告事項　WGの進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG

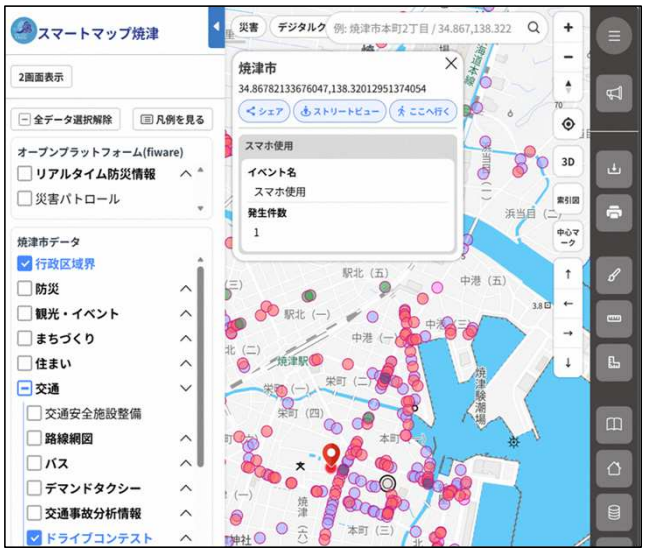
主体者	■あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 ■焼津市
認識している地域課題	■　運転者の規範意識の低下による交通ルール無視や交通マナーの低下がみられる ■　2025年統計によると、焼津市は静岡県内事故総数（人身事故）10万人あたりでワースト２位※であり、交通事故を削減し、安全運転の意識を向上する必要性がある ※出典：焼津市 市民環境部 くらし安全課交通事故発生状況 （交通事故発生状況｜焼津市）



報告事項　WGの進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
小学校 低学年向けの 交通安全学習 開催	昨年度、ドライブコンテストを開催し、安全運転マップデータをスマートマップ焼津に融合した。 この蓄積したデータを活用し、子ども向けの交通安全学習を展開する。 ①小学校での課外授業 ・低学年向けに課外授業を開催 ・授業参観など、親子参加型での開催も可能 ②地域で開催するイベント ・自治体のみなさまが開催する地域住民向けのイベントとして交通安全学習を開催 ③スマートマップ焼津の活用によるワークショップ開催 ・スマートマップ焼津のデータをもとに自宅付近の安全な道を確認する





報告事項　WGの進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG　活動スケジュール

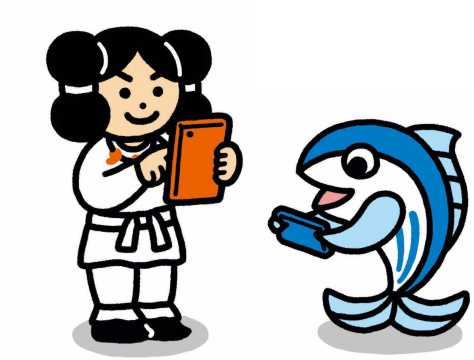
WGのゴール	交通安全の重要性を市民に広く周知し、マップを活用し啓発活動を推進する
中期目標 （マイルストーン）	マップ活用の機会を拡大するため、小学校・幼稚園へマップの情宣・活用による「こうつうマナーチャレンジ」を実施

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安全運転マップデータをスマートマップに融合	スマートマップ焼津にデータを反映												
こうつうマナーチャレンジの開催								各関連先へ開催について検討中		以降　開催へ向けて活動			

報告事項　WGの進捗について

04_自治会DX WG

主体者	■焼津市自治会連合会 ■焼津市
認識している地域課題	一般的な自治会が抱える課題 ■　迅速な情報発信（回覧板　→　デジタル化） ■　事務作業の負担感（役員会などの出欠管理） ■　事務作業の引継ぎ（文書のデジタル保管、役員会資料作成テンプレート化） ■　外国人住民への対応（多言語翻訳）



報告事項　WGの進捗について

04_自治会DX WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
デジタル化に向けた サービス導入検討	■ 自治会連合会としての方向性を検討 ① 自治会連合会として「誰も取り残さない」ようにするために、どのような方向性で進めればいいか検討を行う。 ② 5月自治会定例会にて、自治会長向けアンケート実施 ③ 自治会長からの意見では、全自治会統一のアプリ導入には慎重な意見も見られた。 ④ 結果、希望自治会に対して、LINEの講習会を実施する方向で検討中

報告事項　WGの進捗について

04_自治会DX WG　活動スケジュール

WGのゴール	自治会DXサービスの円滑な導入と活用促進を通じて、自治会業務の効率化を実現し、持続可能な地域運営基盤を構築する。
中期目標（マイルストーン）	DX化に関心の高い自治会を中心に、DX化に向けた講習会を実施し、スキルアップを図る。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自治会向け意向確認	アンケート実施											
DX導入の方向性の検討			希望自治会に対して、LINE導入の講習会実施									
自治会への行政情報の受渡方法検討	継続検討中											

報告事項　WGの進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG

主体者	■ 焼津市 （職員・消防団） ■ 焼津商工会議所 ■ 大井川商工会 ■ 焼津市社会福祉協議会
認識している地域課題	■災害情報のリアルタイム共有と行政の災害対応の迅速化 ■市民の防災意識向上と共助の強化 ■防災情報へのアクセス向上と適切な避難行動の促進



報告事項　WGの進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
共助による 地域防災体制の推進 （リスクロ、スマートマップ焼津の活用）	令和６年度に、デジタル地図「スマートマップ焼津」とウェザーニューズ社の投稿サービス「リスクロ」を活用し、市職員による冠水情報等の共有を開始した。今後は、市民や地域団体による情報発信体制の整備に取り組み、地域の共助による防災力の向上を目指す。 ■ 職員及び消防団の更なる活用の推進 〇令和７年度の台風第15号や、令和８年６月３日の台風第６号時に職員や消防団から多数の投稿があった。 〇投稿内容はスマートマップ焼津で公開され、災害対策本部での確認や関係機関との情報共有に活用することができた。 〇今後の災害対応時も活用ができるように投稿の協力依頼、投稿がしやすい環境整備等を行う。 ■ 投稿可能者の拡大の検討 〇投稿可能者は現状「市職員・消防団・一部関係機関（※）」としている。 （※）焼津商工会議所・大井川商工会・焼津市社会福祉協議会 〇情報収集の観点では投稿可能者を拡大することが望ましいが、誰でも投稿可能である場合、デマやフェイクの投稿が行われる可能性が生じる。 〇メリットとデメリットを踏まえて、投稿可能者の拡大の検討を行う。

報告事項　WGの進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG　活動スケジュール

WGのゴール	焼津市民全体でリスクロに参加できる体制を構築し、地域全体の防災力向上を目指す
中期目標（マイルストーン）	R7連携団体の皆様を中心に、可能な限り多くの方にリスクロの友達登録を行っていただき、実災害時に使用してもらう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実災害での運用	リスクロを実際に使用し、被害情報を投稿、スマートマップ焼津で投稿内容を確認											
運用後の振り返り			投稿件数及び内容や課題等の確認（随時）									
運用の整理										次年度に向けた運用の整理		
投稿者の拡大検討			他市事例の研究や関係者との協議を行い検討									

報告事項　WGの進捗について

06_地域「健幸」共創ＷＧ

主体者	■ 焼津市 ■ 株式会社Wellmira ■ 一般社団法人UDCKタウンマネジメント ■ 焼津商工会議所 ■ 大井川商工会
認識している地域課題	■ 生活習慣病の発症予防と重症化防止 • 焼津市は同規模自治体と比較して、医療費に占める生活習慣病の割合が高く、加齢による重症化も顕著。 • 健康寿命を延伸し、市民の幸福度を高めるためには、官民連携による生活習慣病対策が必要。 ■ 持続可能で、活力ある地域社会の実現 • 自身の体調不良や親の介護など、健康に起因する就業や社会参加への影響が懸念されている。 • 市民が健康を維持し、幅広い世代が就業や地域活動に継続して関わることで、地域の活力と持続可能性の向上が期待される。



報告事項　WGの進捗について

06_地域「健幸」共創ＷＧ　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
健康管理アプリ「カロママ プラス」の利用推進	• 令和８年9月末時点で「カロママ プラス」を5,238名が登録。（R8:1,869人） • 市民の健康行動を推進するため、「カロママ プラス」内で健康行動にポイントを付与し、「やいづ健康マイレージdeごほうびキャンペーン」を企画し、1,540人と多くの市民が参加。新規登録者も200人以上を記録した。 「ウォーキングイベント」には市民780人、18事業者157人が参加し、新規登録者は、150人以上の獲得。
やいづ健幸応援団の立ち上げ・普及	• 地域・市民の健幸向上に向け、事業者と行政が一体となって健幸づくりを推進する仕組みとして「やいづ健幸応援団」制度を開始し、66事業者が登録。 【１】健康経営実践コース（参加事業者：26社） ・事業者対抗ウォーキングイベントを開催。1回目は18事業者（157名）、 【２】やいづ健康マイレージ協賛コース（参加事業者：27社） ・市民の健康行動のインセンティブとなる「やいづ健康マイレージdeごほうびキャンペーン」で交換・応募できる商品を協賛。 【３】健康づくり・見える化コース（参加事業者：13社） ・市内18か所にベジチェック®を設置 【４】普及・周知支援コース（参加事業者：17社） ・健康経営セミナーを開催し、「やいづ健幸応援団」の取組を事業者に周知。 年金受給者へのキャンペーン活動により「やいづ健康マイレージ」を周知。

※健康経営®はＮＰＯ法人健康経営研究会の登録商標です。

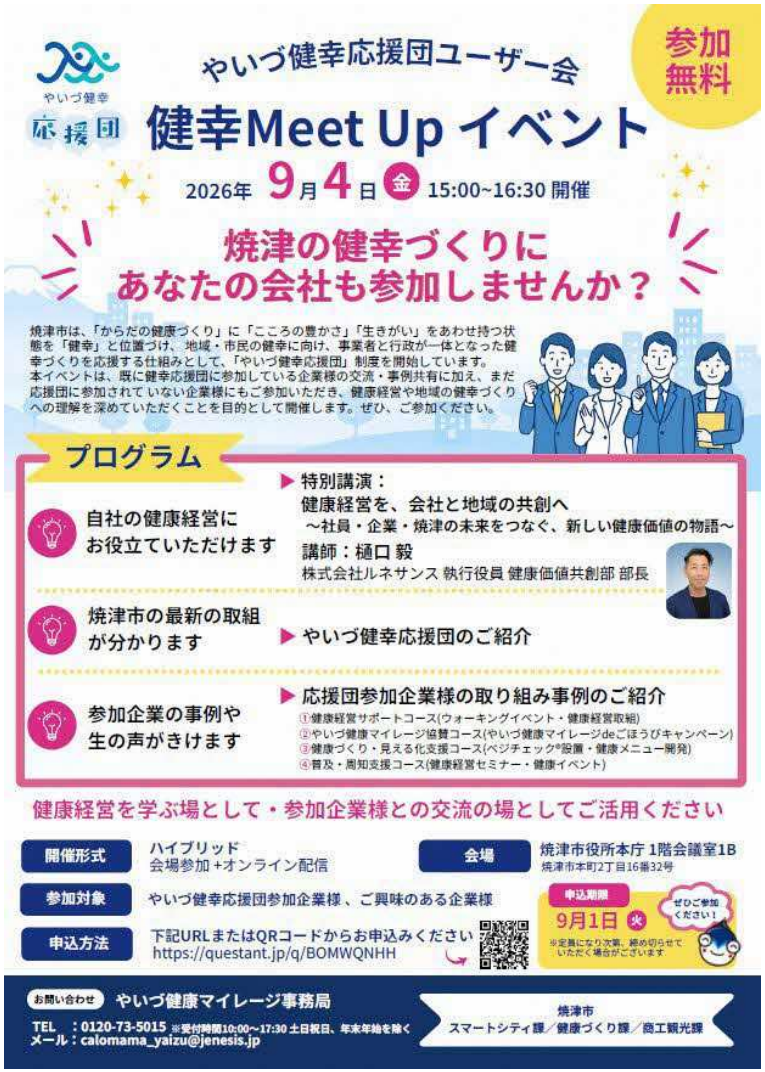
報告事項　WGの進捗について

06_地域「健幸」共創ＷＧ　具体的な取り組み内容

・ユーザー会の開催
　健幸応援団未加入事業者：12社
　健幸応援団　既存事業者：19社
　計31社が集まりました。

・講師をお招きし、健康経営の講座
・健幸応援団の各コースの事業者様から具体的取り組みのシェア
等をいただき、満足度の高い会となりました。





報告事項　WGの進捗について

06_地域「健幸」共創ＷＧ　具体的な取り組み内容

【１】健康経営実践コース

・ウォーキングイベント第1回開催
　企業：18事業者　157人
　市民：780人
　新規登録者は、150人以上の獲得

・ウォーキングイベント第2回　まもなく開催



【２】やいづ健康マイレージ協賛コース

・やいづ健康マイレージdeごほうびキャンペーン
　27事業者による協賛
・第1弾へは1540人が参加
　200人以上の新規獲得



報告事項　WGの進捗について

06_地域「健幸」共創ＷＧ　具体的な取り組み内容

【３】健康づくり・見える化コース

- カゴメ様の記念日（愛菜（1/31）の日）のタイミングに合わせ、企画を展開予定
  食の切り口、カゴメ様の影響力をお借りし、認知度、アプリ登録者の促進を行う



踊夏祭への参加

【４】普及・周知支援コース

- **「健康経営実践コース」の普及・支援活動**
  健康経営実践コースの登録促進に向け、登録事業者による営業・周知活動が行われ、複数の事業者の協力を得た

- **焼津商工会議所・大井川商工会の周知支援活動**
  健康経営セミナーに登壇させていただき、健幸応援団の活動をシェアさせていただいた。



イオンでのPR活動

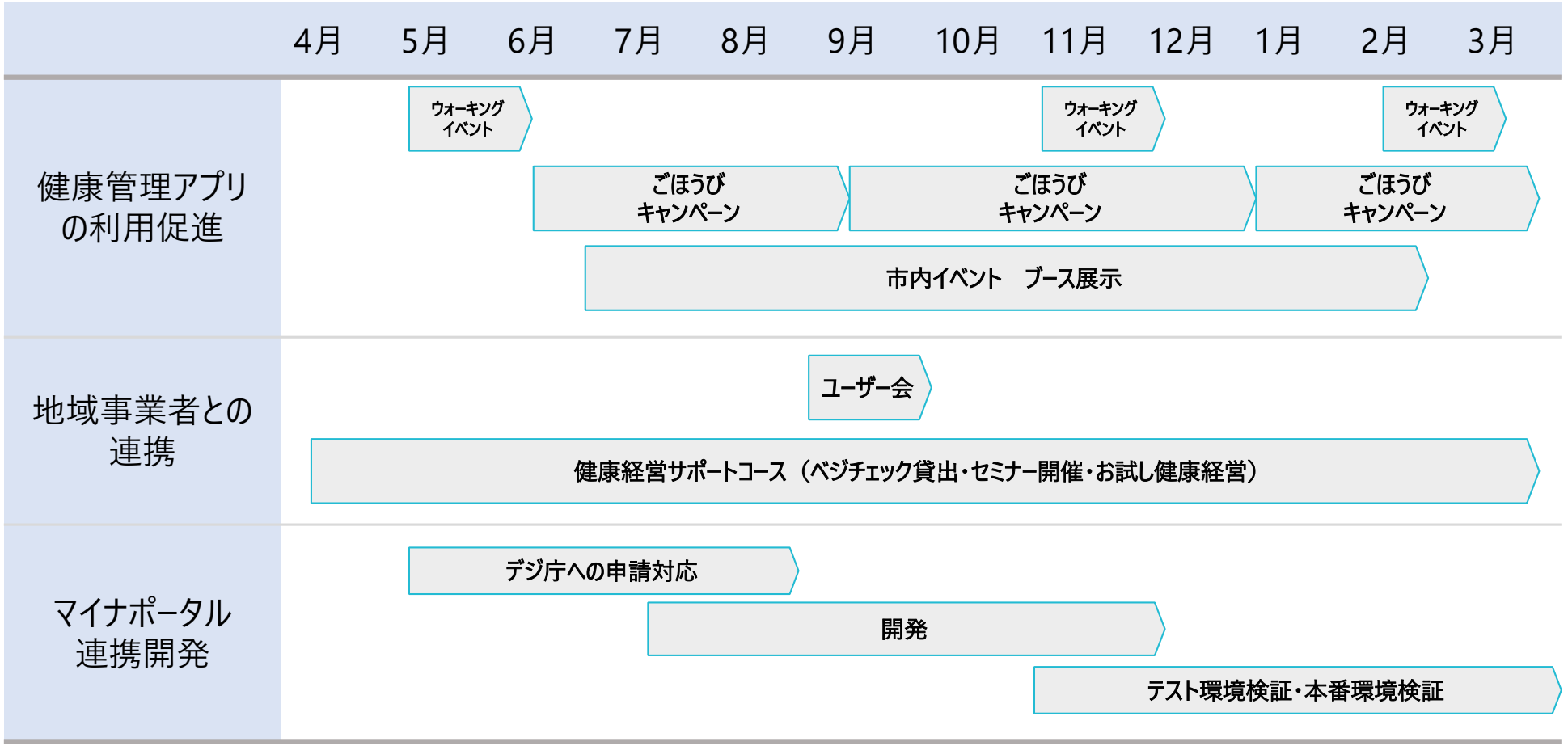


集団健診での登録会

報告事項　WGの進捗について

06_地域「健幸」共創ＷＧ　活動スケジュール

WGのゴール	市内の事業者が、顧客や従業員の健康を支える主体となり、焼津市と連携して、生活習慣病予防や健康経営が根付いた地域を実現する。
中期目標（マイルストーン）	健康管理アプリの継続利用を推進し、健康行動を促進させる仕組の構築。 「やいづ健幸応援団」の取組を推進し、地域事業者がそれぞれの立場で参画できる仕組みを展開。



報告事項　WGの進捗について

07_子ども見守りWG

主体者	■株式会社otta ■焼津市 
認識している地域課題	■　地域の子ども見守り活動における担い手不足 • 子どもの登下校時等の見守りについて、市内では子ども見守り隊や警察・学校関係者・地域の方など、あらゆる関係者が地域一体となって実施しているが、高齢化や共働き世帯の増加等社会構造の変化に伴い担い手が不足し、人の目に頼った子どもの見守り体制の限界が見込まれる。 • これまでの地域見守り活動を補完する手段としてデジタル技術を活用した「持続可能な新たな見守り体制の構築」が必要である。 ■　誰もが安心して暮らせる地域社会の実現 • 近年、子どもの連れ去りや行方不明等の事案があるところ、焼津市の子ども・子育て支援に関する調査においても、保護者から「子どもを犯罪等から守る活動の推進」について、高いニーズがくみ取れる。 • デジタル技術を活用した新たな見守り体制において、焼津警察署との連携を実現することで、保護者の安心感を高め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に寄与する。

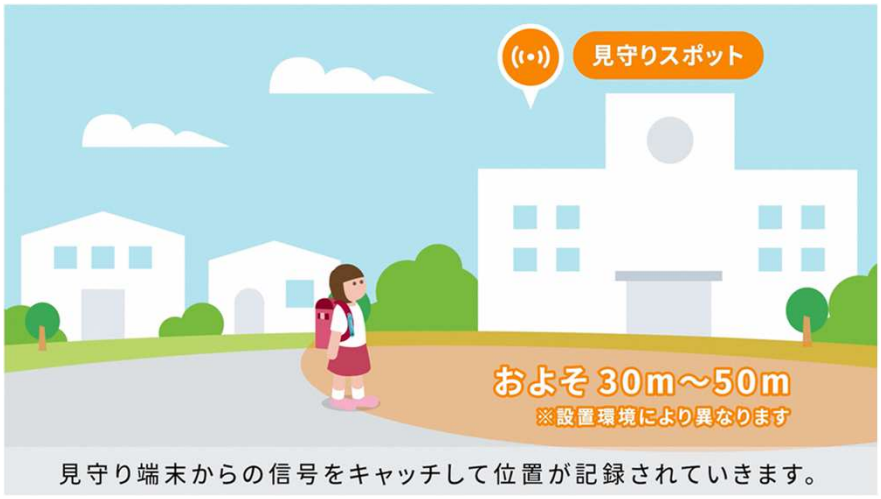
報告事項　WGの進捗について

07_子ども見守りWG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
見守りネットワーク（広域インフラ）の構築	• 見守りスポットの整備により、地域見守りネットワークを構築する。 ■ 見守りスポットの整備 ➢ 市内全小学校の昇降口を中心に、21カ所設置完了（９月末時点） ➢ 年度内設置完了を目途に設置候補施設への依頼・調整を実施中



見守りスポット設置へのご協力をお願いいたします





報告事項　WGの進捗について

07_子ども見守りWG　具体的な取り組み内容

解決策	具体的な活動内容
こども見守りサービス導入	• 市内全小学生（希望者）を対象に「見守り端末」を配布し、位置情報を用いた子どもの見守りサービスを展開する。 ■ こども見守りサービス開始 ➢ ８月24日より市内でサービス開始 ➢ 利用者数1,500人超、利用率26.8％（９月末時点） ■ こども見守りサービス普及に向けた周知啓発 ➢ 広報やいづ８月１日号掲載 ➢ 市公式LINE８月19日配信





見守り端末

<u>こども見守りサービスのご利用や</u>
<u>普及周知にご協力をお願いいたします</u>



報告事項　WGの進捗について

07_子ども見守りWG　具体的な取り組み内容

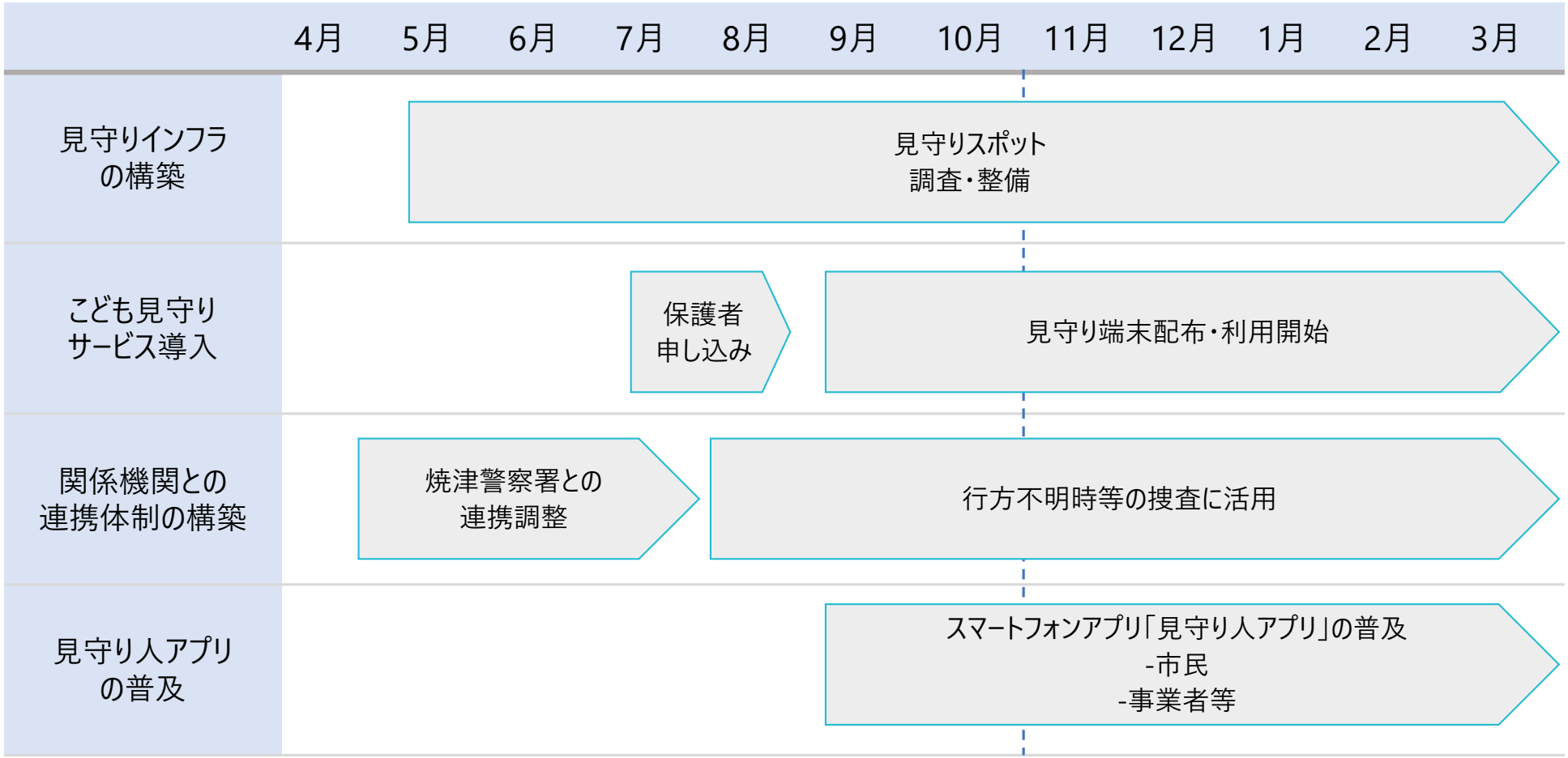
解決策	具体的な活動内容
関係機関との 連携体制の構築 **見守り人アプリの普及**	• 教育・防犯・見守り関係機関等との連携体制を構築し、サービスへの理解醸成や見守り人アプリの普及を図る。 • 見守り人アプリの利用拡大により、地域見守りネットワークを強化する。 ■ 非常時の捜査活用について otta×焼津警察署　7 月28日覚書締結 ■ 各団体の会議等で制度説明・協力依頼を実施 ➢ 青少年問題協議会 ➢ 総合教育会議 ➢ 焼津市デジタル田園都市構想総合戦略実務者連絡会 ➢ 補導員幹事会 ➢ 放課後児童クラブ所長会議 ➢ 自治体連合会定例会　ほか ■ 見守り人アプリのインストールによる 地域の見守り活動への参加を周知啓発 ➢ 広報やいづ８月１日号掲載 ➢ 市公式LINE８月19日配信 ➢ 焼津・大井川図書館でのポスター掲示 ➢ 見守り人アプリ検知数18,832（８月末時点） 

<u>見守り人アプリインストールへのご協力をお願いいたします</u>

報告事項　WGの進捗について

07_子ども見守りWG　活動スケジュール

WGのゴール	デジタル技術を活用した新たな子どもの地域見守り体制を構築し、持続的な見守り体制の実現へ寄与する。
中期目標（マイルストーン）	夏休み明け（8月下旬）を目途に、市内全小学生の希望者を対象に、見守り端末を配布し、こども見守りサービスを開始する。



意見交換

閉会